

「マイクロスコープを制する者が、歯科を制する」 マイクロスコープをフルに使いこなすためのヒント

清水藤太 Tota Shimizu, DDS

ロサンゼルス開業
UCLA 歯学部、クリニカル・インストラクター
日本大学松戸歯学部、客員教授

1993 年、鹿児島大学卒業。保母須弥也に師事し局部補綴学を修める。
1998 年、ロサンゼルス南カリフォルニア大学 (USC) 大学院に入学。
2000 年、アメリカ歯科国家試験合格
2000 年、USC 臨床准教授に就任。大学院生の臨床指導に携わる。
2001 年、カリフォルニア州歯科免許取得、ロサンゼルスにてエンド専門医として開業
2011 年、南カリフォルニア大学歯学部 “2011 年度最優秀臨床准教授賞”、受賞。
2013 年、UCLA 歯学部に移籍。クリニカル・インストラクター就任

マイクロスコープと CT が保険適応になるという新しい局面を迎え、もはや特別なものでなくなったマイクロスコープ。しかし現実問題として、これを一般的な日常臨床にどう溶け込ませればいいのか、悩んでいる臨床家は多いのではないだろうか。

演者は、2008 年以來すべての治療をマイクロスコープのもとに行っており、その経験を基にして、(1) マイクロスコープを全ての治療において駆使するための心構え、(2) 術者・患者のポジショニング、(3) マイクロスコープ機種選択、オプション選択の重要性、につき実機を用いて詳説する。

全てのドクター、全てのスタッフが、全ての患者の、全ての治療の局面でマイクロスコープを活用する、それが日本の歯科の未来を明るくする、ひいては日本国民の福祉の向上につながる、今回のセミナーがその第一歩になる事ができればと願っている。